

女性のライフサイクルに継続的に寄り添うケア、 Women's Primary Careで 地域の周産期医療と女性に安心を与える

医療法人社団 御代田中央記念病院

吉田尚浩 株式会社日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット



医療法人社団 御代田中央記念病院

理事長	: 清水 一功 先生
院長	: 中川 隆雄 先生
産院院長	: 廣瀬 健 先生
住所	: 長野県北佐久郡御代田町 大字御代田4107-40

雰囲気の建物は Women's Primary Care を担うには最適な環境である。

廣瀬先生は上田市立産婦人科病院で院長を務められた後、今年の3月まで非常勤で勤務されていましたが、4月からは女性のライフサイクルに寄り添う継続的なケア、Women's Primary Careで女性をしっかり支える場所が必要であるとの思いから、医療法人社団 御代田中央記念病院の院内産院“音々(ねね)”の院長に就任されました。同時に産婦人科の診療にもあたられています。音々は産婦人科と連携し、医師、看護師、助産師がチームを組んで妊娠、出産、産後ケアに一貫してあたり、地域の周産期医療に安心感を与えています。本格稼働は秋からですが、そのような女性への思いが詰まった医療現場にARIETTA^{※2} 850SE(株式会社日立製作所製)とともにFUTUS^{※3}(株式会社日立製作所製)が導入されましたので、廣瀬先生と看護師の野口さんにお話を伺ってきました。

プライマリケアに必要な検査機器とMRIで 迅速な診断

超音波装置やそのほかの検査機器の設置状況を教えてください。

産婦人科では超音波装置が必須アイテムです。婦人科では良悪性の診断にカラードプラを使用し、血流を確認していますので、画像の解像度の高さが診断能力として必要です。今回は日立製のハイスペックな装置(ARIETTA 850SE)を導入したのでこれから役に立っていくと思います。FUTUSのほうも

所在地



上野から、北陸新幹線で軽井沢へ、観光客でにぎわう軽井沢から、しなの鉄道^{※1}に揺られること15分で御代田駅に着く。御代田町は長野県の東の玄関口にあたり、浅間山南麓に位置する。御代田中央記念病院は、ここから車を走らせて5分の所にある。整然と植樹された木々に囲まれ、落ち着いた

全く不満はありません。超音波検査は婦人科用途だけではなく健診にも使っています。健診では4月から安い費用で超音波検査を選択できるようにしたので、希望者は多いのですが、そのなかの2～3割で異常が見つかっており、FUTUSは大活躍しています。検査件数としては1か月で約75件行っています。そのほか、コルポスコピーなどプライマリケアに必要な装置はそろっています。また、当病院ではMRIもすぐに使用可能な体制になっており婦人科として非常に迅速な診断ができます。

産婦人科での超音波検査について

超音波検査についてのお考えを教えてください。

超音波を診断目的以外に使用するのは反対です。例えばDVDに録画するために高周波の超音波を赤ちゃんに当て続けるというのは、私はしません。したがって、私の妊婦検診の時間は比較的短いです。超音波装置は安全な機器と思われていますが、見えない危険性が否定できない以上は、必要最低限にするべきと思っています。超音波検査でみる時間はお母さんとのコミュニケーションツールとして必要以上に長時間スキャンすることは避けています。また、超音波装置の性能は向上していて、かなり微細なところまで分かる時代になってきていますが、組織的な診断はMRIのほうが上です。超音波検査で問題があったらすぐMRIで検査するという流れを作っています。ですから、超音波検査だけで繰り返しみるということではなくて、超音波検査はスクリーニングの一つと捉えています。



超音波検査があつてよかったと思った出来事がありますか。

産婦人科で超音波検査があつて良かったというエピソード

は沢山あります。私は必ず臍帯が胎盤のどこについているかをみます。これにより前置血管が早めに分かったことがあります。前置血管は、破水時に血管が断裂し、一気に赤ちゃんが危険な状態になります。これが超音波検査のカラードプラで分かり、帝王切開をあらかじめ選択することができました。それと、臍帯巻絡、それも特に出産時に難渋する巻絡の場合に、もし途中で自然分娩が無理と分かった場合はすぐに帝王切開できる準備をして自然分娩に臨むことができます。これは超音波検査が無ければできないことです。

また、妊娠17週で心奇形、単心室を見つけたのですが、その方をすぐに長野県立こども病院に紹介して、そこで無事に出産し、産後に適切な治療を受けて今は元気になっています。つまり超音波診断というのは赤ちゃんの異常を早期に発見するために重要です。

超音波診断装置「FUTUS」

FUTUSをお使いいただいた感想はどうでしょうか。

これまでの超音波装置に対して、FUTUSは明らかに画質などのレベルが上がっています。加工されていない自然な印象です。加工しすぎていると、きれいには見えますが、診断には向きません。私としてはFUTUSに、不満はありません。

また、FUTUSは内診用として使用しています。理由としては、まずコンパクトで、移動が容易にできること。また、経腔プローブの挿入部が小さいのが良い点です。カラードプラなど最低限必要な機能がついていて内診用には十分だという印象です。

看護師さんの立場からFUTUSについて野口さんから一言お願いします。

すごくコンパクトなデザインで、画面が大きいのでお母さんに見せるときによく見えるようで大変喜ばれています。病棟に運んだときに操作性(取り回し)も良くて、モニタを倒すことができるので視界を遮らず安全に運べます。

今後の期待

今後のFUTUSに期待することを教えてください。

あえて要望を言うと、子宮の位置関係で経腔プローブを無理に押し付けなければならない場合があります。何らかの方法で画像を中央に表示することができると患者様の負担が減ると思います。

今後の超音波装置に期待することを教えてください。

いつも使用している機能は何も考えずに操作できますが、普段と違うことをしたいと思ったときに「あれっ」と思うことがあります。そんなときに、フローチャートのような形で誘導してくれると、いろいろなことをもっとやってみたいと思うようになりますよ。そして、3、4回も同じ操作をすると頭に入るので、超音波検査の使い方がさらに広がると思います。これだけ素晴らしい性能の超音波装置を決まったことにしか

使わないのはもったいないです。

今後の日立に期待することを教えてください。

FUTUSの導入に関して、日立はよくやってくれました。私は本当に感謝しています。こんなに私が期待した装置を、こんなに期待した条件で手に入れられたことに感謝しています。こんなにいい装置を評価してもらうにはやはり実際に使ってもらえないじゃないですか。私はいい装置だなと実感しています。ですが、いろんな機能があれば医師がそれを使ってくれるだろうという発想で作られている。つまり、医師がどれを使うかは医師任せになっている。それで、実際に使うのは一部の決まった機能に限られてしまう。いろんな機能を使いこなしている医師は本当に少ないと思います。これではせっかくいろんな機能が付いているのもったいない。それだったら最初からガイド機能を入れてすぐに使えるようにしておけばもっと使う人が増えると思います。今後の日立に期待します。

取材を終えて

女性のライフサイクル全般をプライマリケアで支えていくという基本理念を終始熱く語っていただき、取材担当者全員が感銘を受けました。女性インタビュアーが涙をこらえる場面もあり、このような環境で日立製品によって、人と技術が繋がっていることを教えていただいた素晴らしい取材でした。今後も頑張っていきます。



販売名：超音波診断装置 FUTUS
医療機器認証番号：230AABZX00044000

販売名：超音波診断装置 ALOKA^{※4} ARIETTA 850
医療機器認証番号：228ABBZX00147000

- ※ ALOKA ARIETTA 850はARIETTA 850SEと呼称します。
- ※ ARIETTA850SEは、ALOKA ARIETTA 850の機能を限定したモデルです。

- ※ 1 しのの鉄道はしのの鉄道株式会社の登録商標です。
- ※ 2 ARIETTA、※ 3 FUTUS、※ 4 ALOKAは株式会社日立製作所の登録商標です。



写真中央 左：廣瀬先生 写真中央 右：野口さん
右：海老名 敏昭(株式会社日立製作所) 左：筆者